

事後評価書

箇所名	一般国道477号西浦バイパス		事業名	道路事業	課名	道路建設課
事業概要	工期 (下段前回)	全体：H18年度～H29年度	全体事業費 (下段前回)	全体：1,871百万円 (負担率：国5.5 県4.5)		
		全体：H18年度～H29年度		全体：1,917百万円 (負担率：国5.5 県4.5)		
事業目的及び内容		<p>■当該路線の状況</p> <p>一般国道477号は、三重県四日市市を起点として大阪府池田市の一般国道423号に至る延長約220kmの幹線道路です。</p> <p>当路線の四日市市周辺においては、東名阪自動車道及び整備が進む新名神高速道路や北勢バイパスなどの広域交通網と、市街地を結ぶ交通の所要となっており、さらに四日市市西部に発展した住宅地と四日市東部に形成された市街地を接続する重要な路線となっています。</p> <p>しかし、今回の整備対象となっている四日市市西町から西浦二丁目の区間については、三滝川右岸に現道が2ルートあり、河川内のルートは鉄道橋梁による高さ制限や出水時の通行禁止など通行に関する諸条件とともに、河川の通水断面を阻害しているという問題を抱えていました。また、堤防天端を走るルートの踏切は、ピーク1時間当たり遮断時間が29分と自動車交通への負荷が非常に高くなっていました。</p> <p>■事業の目的</p> <p>バイパス整備によって自動車交通の円滑化を図り、安全な交通機能を確保するとともに、「近鉄名古屋線川原町駅周辺整備事業」における基本事業である「近鉄名古屋線川原町駅付近連続立体交差事業」及び「二級河川三滝川河川改修事業」と一体的に整備することによって総合的なまちづくりを行います。</p> <p>■事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 11年間(平成18年度～平成29年度) ・全体事業費 18,710百万円(工事費:990百万円、用地費:881百万円) ・計画延長 L=0.46km(起点)四日市市西町～(終点)四日市市西浦二丁目 ・道路幅員 W=6.0(7.5)m ・除去踏切 1箇所 ・主要構造物 函渠 1基 				

1 事業の効果

1-1 費用対効果分析

◆費用便益分析結果

区分		前回 (基準年：H27)	今回評価時 (基準年：R4)	備考
費用	事業費	22.4億円	29.3億円	事業費の変更
	維持管理費	0.2億円	0.2億円	三重県の実績値(H24～R3)
	合計	22.6億円	29.5億円	
効果	移動時間短縮便益	30.7億円	69.0億円	原単位の見直し
	走行経費減少便益	14.9億円	26.7億円	原単位の見直し
	交通事故減少便益	0.7億円	1.0億円	原単位の見直し
	合計	46.3億円	96.7億円	
費用便益分析結果 (B/C)		2.0	3.3	【共通】 ・マニュアルの変更 ・基準年次の変更 (現在価値化)

※出典：費用便益分析マニュアル(令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)

1-2 費用対効果の検証

◆移動時間短縮効果の検証

当該事業により踏切が除去され、平均走行速度が約3.5km/h上昇しました。当路線は、バイパス整備前から踏切のない河川内アンダーパスがあったため、速度上昇は踏切除去分の部分的なものとなっています。

◆走行経費減少効果の検証

踏切遮断、渋滞の解消により走行効率が向上し、走行に必要な経費減少に寄与しています。一般国道477号では遮断、踏切渋滞の影響は限定的でしたが、対岸の(都)四日市関ヶ原線ではピーク1時間あたりの最大遮断時間31.3分、最大渋滞長100m(西進)が解消されています。

<p>◆交通事故減少効果の検証 当該路線では、開通前の平成24年～平成27年の4年間及び開通後の平成29年～令和4年の4年間で死傷事故は発生していません。</p>	
<p>1-3 その他の効果</p> <p>◆緊急輸送道路ネットワークの強化 一般国道477号は第一次緊急輸送道路（一般道路）として四日市市街と東名阪道・新名神を連絡する重要な路線となっています。事業により、踏切渋滞や冠水による通行止めリスクが減少し、第一次緊急輸送道路（一般道路）としての機能が強化されました。</p> <p>◆物流企業への効果 踏切の除去・道路整備により、線路を挟んだ東西を円滑に移動できるようになったため、宅配等の物流効率化、従事者の負担軽減につながっています。</p>	
<p>2 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化</p> <p>「三滝川ふるさとの川整備事業」と一体性のある調和のとれたデザインとし、土留め壁として環境配慮型ブロックを使用しています。</p>	
<p>3 事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>周辺エリアの人口及び世帯数が増加、川原町駅の鉄道乗降客数が増加した（コロナ禍迄）ことで当該事業の必要性が一層高まっています。</p>	
<p>4 県民の意見</p> <p>一般国道477号西浦バイパスの意見として、事業箇所周辺に住む2,043世帯へアンケートを配布するとともに、広域的な地域にお住いの道路利用者に対してWEBアンケートを実施しました。住民アンケートは、1,008通のご回答をいただきました。WEBアンケートにおいては、416名の方からご回答を得られました。地域住民の約65%、道路利用者WEBアンケートでは、約70%が満足と回答しています。</p> <p>満足と感ずること 【地域住民・WEBアンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切が撤去され、スムーズに移動できるようになった ・河川外にルートが変更され、大雨時など安全に通行できるようになった ・河川内に道路があったころは道路に泥がたまりやすくスリップした経験があるが、解消されて安心している <p>不満と感ずること 【地域住民・WEBアンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンダーパスを自動車を通る際に大きい音がするため、グレーチングを蓋に替える等対策をしてほしい <p>関係機関の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切の除去により、時間短縮とともに安静な救急搬送が可能となった（四日市市消防本部） ・輸送効率が向上し、特に夕方の宅配・集荷の時間が短縮された（運輸事業者） ・踏切事故や異常検知のリスクが解消され鉄道の定時運行が向上した（近畿日本鉄道） 	
5 再評価の経緯	<p>当該事業は、平成18年に事業着手し、平成27年度の再評価においては、事業継続の妥当性が認められたことから、事業継続を了承されています。</p>
6 今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・アンダーパスを自動車を通る際に大きい音がするため、グレーチングを蓋に替える等対策をしてほしい <p>→対応方針：騒音については、ボルトの緩みが確認されたため、速やかに締め直しを行いました。今後も、日々のパトロール業務の中で適切に維持管理を行い、騒音防止に努めていきます。（グレーチング蓋は冠水防止のために採用しています）</p>

※再評価実施事業は（下段前回）とし、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は（下段当初）とし、当初計画時の内容を記載する。